

ラオスの研修員がコンパクトシティ富山の公共交通を学びます

ラオスの首都ビエンチャンでは、年々進む都市化と人口の増加、経済活動も活発化する中で、モータライゼーションの進展により増加した車両・バイク等による朝夕の交通渋滞が主要道路で発生しています。一方、公共交通の分担率は低い数値に留まっており、首都ビエンチャンでは今後の更なる都市化も見据えた都市交通の円滑化・効率化の重要性が高まっています。

そうした背景から、(独)国際協力機構 JICA では2008年に都市交通マスタープランのプロジェクトを実施し、現在はそのマスタープランの改定プロジェクトである「持続可能な都市交通システム能力向上プロジェクト」を実施中です。このプロジェクトでは、首都ビエンチャンにおける都市交通行政機関の都市交通マスタープランの策定能力、並びにマスタープランに基づく交通行政を実施する能力の向上が目標とされています。

今回来日する都市交通に係わる中央政府関係者等が、コンパクトシティ・公共交通の発達をしている富山市で、何を学び、自国でどのように活かすかを、是非、取材・報道いただけますと幸いです。

本研修につきまして、日程表をご確認の上、当日の取材・報道方、宜しく願います！

*** 詳しい日程につきましては、添付資料をご覧ください。**

研修名: 国別研修/持続可能な都市交通システム能力向上プロジェクト

研修期間: 2019年11月18日(月)～2019年11月23日(土)

閉講式: 2019年11月21日(木) 15:00～15:30

会場 CIC 会議室1(予定)

なお、研修時間・実施場所は変更になる可能性がありますので、必ず事前にご連絡ください。

当機構は、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成のために力を入れて取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



本案件は、SDGs 目標11の“住み続けられるまちづくりを”を主な目標に取り組んでいます。

別添: 日程表

【本件に関する問い合わせ先】
(独) 国際協力機構北陸センター (JICA北陸) 平田
TEL 076-233-5931 e-mail: Hirata.Yukari@jica.go.jp